未来へつなぐ介護福祉

「2025 年問題」団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）になり、医療・介護の需要が急増することによって生じる社会問題の総称です。

特に介護分野では深刻な人手不足、介護財源のひっ迫、それに伴う「介護難民」の増加が懸念されています。 現状の一番の課題は「人材の確保および、育成」です。

まずは、多くの方に「介護の仕事」を知ってもらうべく、それぞれの仕事内容を紹介したいと思います。

第一回は「訪問介護（ヘルパー）」です。

介護の仕事【訪問介護】

訪問介護の仕事は、利用者の自宅を訪問して「身体介護」（食事、入浴、排泄などの介助）や「生活援助」（調理や掃除、洗濯、買い物などのサポート）を提供することです。また、通院時の乗降介助や、健康チェック、関係者との情報共有なども仕事の一部です。

▶訪問介護の仕事のポイント

① 自立支援

利用者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう、生活能力の維持・向上を支援することが目的です。

② できることと、できないこと

訪問介護は、利用者の日常生活を支えるためのサービスであり、日常生活の範囲を超えること（家族のための家事、来客対応、大掃除等）や、医療行為はできません。ただし、喀痰吸引等研修を修了していれば、喀痰吸引や経管栄養を行うことも可能です。

③ ケアプランに基づく

ケアマネジャーが作成したケアプランに基づき、サービス提供責任者が作成した計画書に従ってサービスを提供します

ケアプランに基づき、限られた時間で多岐にわたる支援を行う訪問介護員（ヘルパー）の仕事。 働くには、介護福祉士や、介護職員初任者研修、旧ホームヘルパー2 級の資格が必要。

▶やりがいを感じることも多々あり

利用者によって、掃除や洗濯などの家庭内におけるルールは様々なので「覚えることが多くて大変」と思うこともあるかもしれません。

しかし家という空間では、その人らしさを感じることも多く、訪問回数を重ねることで、その人の本音を感じたり、信頼関係を築いていけるという喜びもあります。 また利用者にとってはヘルパーとのコミュニケーションを楽しみにされている方も多く、やりがいのある仕事です。

▶事業所倒産は過去最多（2024 年）

とはいえ、昨年の訪問介護事業所の倒産は 81 件と過去最多となっています。その多くが介護報酬の落ち込みに加え、人員不足や、人員の高齢化といったことを理由にあげています。

当事業所も年々、ヘルパーの人数は減少してきています。 また、昨今の物価高騰などによる影響もあり、厳しい事業運営は続きますが、地域の介護インフラを守るためにできる限りの努力を続けてまいりたいと思います。

NPO 法人クローバー・サービス
京都府船井郡京丹波町橋爪桧山 53
■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017
■e-mail: info@cloverservice.or.jp
■ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター
京都府船井郡京丹波町橋爪桧山 41-1
■TEL & FAX (0771)88-0138
■e-mail: day@cloverservice.or.jp

facebook QR

有田誠（ありたまこと）京丹波町在住の映画愛好家
写真は、長崎市原爆投下中心地で筆者撮影。

フなども映画の第一印象として広瀬すずという俳優はすごいねと一様に口にしていた。日本映画における貴重な〝仕掛〟け〟のような気がする」

・『ゆきてかへらぬ』の根岸吉太郎

「どこか憑依しているところがあった。精神的にちゃんとそこに入り込んでいる」

この作品では、中原中也、小林秀雄との三角関係にあった女優長谷川泰子を演じた。

・『宝島』の大友啓史

「まだ若いのに映画の神様に選ばれている。そんな風格すら感じさせる」

・『片思い世界』の土井裕泰（ひろ）

「清廉な潔さみたいなものに、共演者もスタッフも自然に感化される」

『海街diary』（二〇一五）、『三度目の殺人』（二〇一七）など是枝和裕作品では、いわゆる新人という感じだった。十年経つと、原節子や岸恵子などと同じ意味合いの「大女優」が出現した。久しくなかった感激で実に愉快である。

『遠い山なみの光』

父はイギリス人で、作家を目ざすニキは長崎で被爆し、戦後イギリスに渡った母・悦子のことを書こうとする。一九八二年の悦子（吉田羊）は、一九五二年、長崎時代の悦子（広瀬すず）とその友人、佐知子（二階堂ふみ）と幼い娘万里子との交流を語り始める。しかし、母の記憶はつじつまの合わないところが出てくる。

・原作者カズオ・イシグロのコメント

「記憶というのは、たしかに当てにならぬものだ。思い出す時の事情次第で、色合いがひどく変わる」

「人は過去をどのように記憶しているのか。記憶は現在の欲求や感情によって、どのように操作されるのか。どうやってある世代の記憶や経験は、次の世代に伝えられるのか」

筆者はカメラワーク、照明、美術、編集と重箱の隅風に注意を払って二度見た。プロの仕事である。

駄洒落次元のゴミ映画やアニメが氾濫する日本映画には、愛想がつきているのだが、時にこんな映画が出現するので油断できない。

石川慶監督（一九七七年愛知生まれ）

ポーランド国立映画大学で演出を学ぶ。同大学卒業のポーランド人ピオトル・ニエミスキを撮影監督として、『愚行録』（二〇一七）、『蜜蜂と遠雷』（二〇一九）など今回がコンビ五作目。

本作との関連で、平野啓一郎原作の『ある男』（二〇一八）もいとおしさを感じる秀作である。

どこからとも流れてきて、大分で林業についていた男

広瀬すず（一九九八年静岡生まれ）

今年の邦画のベストワンは『遠い山なみの光』で決まりである。主演女優賞は当然、広瀬すず。何せ今年は、彼女の主演作品が四本も公開されている。

四人の監督のコメントを記してみる。

・本作の監督石川慶

「イギリスのプロデューサー、ポーランドのスタッ

（窪田正孝）と結婚した里枝（安藤さくら）は、山林事故で夫を亡くす。その夫、大祐の名前と経歴は偽りのものと判る。

里枝は前の夫と、子供を病死させたことで横浜で離婚した。そのとき世話になった弁護士城戸（妻夫木聡）が依頼され、大祐の過去を調べてゆく。城戸は在日朝鮮人三世で日本に帰化していた。そうした城戸自身の奥底にある不安が、「ある男」の調査をするうちにもたげてくる。

戸籍の売買にかかわっている服役中の詐欺師小見浦（柄本明）に翻弄される城戸、大祐の人生、里枝の心の空白が、ミステリー仕様で展開する。これだけ込み入った話をわかりやすく二時間にまとめてしまう石川慶は並の監督ではない。

平野啓一郎は最近も新聞や雑誌の評論をまとめた『あなたが政治について語るとき』（岩波新書）を出している。講談社の現代新書『私とは何か』の小説版が『ある男』と言える。

「個性」、「自分らしさ」、「アイデンティティの確立」、「自分探し」、そして「自己啓発」と、書いていてもアホらしくなる。

平野啓一郎の言う分人主義も、そうしたとらえ方の限界を指摘している。ひとりの人間の中に色んな面（分人）があり、その集合体が他者（別の分人）と接触することで社会は成立していると平野は言う。

こういう原作を映画化した石川慶が、カズオ・イシグロの記憶の変容のテーマに手をつけたことは必然である。

世代、国籍を越えて想像力を欠き、考える行為を忘れた人間が世界に増殖する。この底の抜けた社会でエンタティメント性を備えた大人の文学や映画に出会う歓びがイシグロ、平野、石川の仕事にはある。

カズオ・イシグロ

石黒一雄は一九五四年、長崎市新中川町に生まれた。五歳で父のいるイギリスに家族とともに移る。『遠い山なみの光』（一九八二）出版の翌年、イギリス国籍を取得した。

彼にとっての日本は五歳までの記憶と、五〇年代の成瀬巳樹男、小津安二郎、黒澤明らの映画で成り立っているらしい。「想像と記憶と瞑想でこね上げられた日本」とのこと。主な作品は早川文庫で容易に手に入る。

カズオ・イシグロ（1954～　）

映画化された作品はアンソニー・ホプキンス主演の『日の名残り』（一九九三、ジェイムズ・アイヴォリー監督）、『わたしを離さないで』（二〇一〇）、そして今回の『遠い山なみの光』（二〇二五）。映画の脚本も『上海の伯爵夫人』、『生きる』などを書いている。

祖父昌明氏は大津の生まれ。上海の東亜同文書院第五期生。伊藤忠商事上海支社支店長を努めた。一男二女は上海、天津で子供時代を送った。

大津市三井寺町、曹洞宗大練寺に昌明氏と妻嘉代さんの墓がある。

イシグロの父鎮男氏は陸軍の気象部から、戦後、長崎海洋気象台に勤務、潮位や高波の観測、津波の研究などをした。寺田一彦台長の発案で「長崎気象台の歌」の歌詞を職員から募集、その作曲もした。両親はピアノを弾き、鎮男氏はチェロも弾けた。

彼の研究は高く評価された。英国立海洋研究所に招聘され、一家でイギリスに移住した。

母の静子さんは長野市で生まれ、戦前に長崎に移った。学徒動員で三菱長崎製作所で勤労奉仕、原爆投下時には工場に行かず、爆風による怪我はしたが助かったとのこと。

こういう家族に囲まれてイシグロは育った。

ヘルパー部門　管理者の声

　ヘルパー部門の管理者塩田です。訪問介護の仕事をはじめてまだ4年半、現場経験は数多くこなしてきたものの、長年続けてこられた方のそれにはまだ遠く及びません。ただ別の仕事で培ってきた経験や、長らく飲食の仕事を経験し、同じ人相手のサービス業、今の仕事に活かせていることもあったり、通ずるところもあり、また多くの人に助けてもらいながら業務に励む日々です。

一人ではなく、チームで関わる介護

　訪問ヘルパーは、基本一人で利用者宅に赴き、身の回りのお世話、生活の手助けをする仕事です。利用者の健康状態を把握し、その変化を察知するアンテナも常に張っておかないといけません。 それゆえ、ヘルパーという仕事を詳しく知らない方は、それを重圧に「大変な仕事だ。」と、感じられ、敬遠される方もいるかと思います。 実際、とっさの判断を強いられる場面もありますが、一人の利用者には一人のヘルパーでなく、数人のヘルパーがチームとなって関わり、多くの介護・医療関係者も関わりながら一人の人を支えています。

新たな仲間を求めています

　訪問ヘルパーは有資格者でなければつくことのできない仕事ですが、当事業所では資格取得を目指す方のサポートも行っています。週に数日、1日数時間という働き方もありますので、少しでもご興味あれば、一度お電話ください。お待ちしています。

＜賛助会員＞

（有）あさひ堂
（株）一谷住宅
イン・ザ・ルーム亀岡店
上段税理士事務所
（株）高木設備
たにやま鍼灸整骨院
田端輪業
（有）土佐寿司
（有）永田損害保険事務所
（有）西村テレビ
ノエビア京都西都販売会社
三木歯科医院
みづほ電工
理容ちどり　　（五十音順）

＜職員募集中＞

ブランクがあっても大丈夫
子育て中の方も活躍中！
働きやすい職場です
まずはお電話を！

【お問い合わせ】
0771-88-5014 まで

編集後記

　同じ介護事業所や、医療関係者、役所等、やり取りする機会は多いのですが、遠く離れた千葉県のとある市の社会福祉協議会に問い合わせをすることになりました。電話を受けた相手も、初めて聞く介護事業所からの電話、縁もゆかりもない京都府の知らない町からなぜかかってきたのか？不思議に思われたことでしょう ▼二十数年前に在籍していた方の資格証を確認するための電話でした。問い合わせするに至った経緯、なぜ必要なのかを丁寧に説明し、何とか糸口をと、すがるつもりでお願いしましたが、相手にとってはそんな昔のことを問われてもすぐには返事ができないと思います。大方の予想通り「しばらく時間をいただけますか？」との返事でした ▼他にも何とか方法はないか？と保健所や、役所にもあたりながら、日々の業務をこなしていたのですが、思いのほか早く先に問い合わせをした千葉県の社協職員さんから、電話がかかってきました。結果として、すぐにわかることではなかったものの「ここに問い合わせをすればどうでしょう？」「もう少し情報をもらえれば、またこちらでも確認してみます」と、親身な対応をしてもらえました ▼それから数日、進展もないまま過ごしていたのですが、その間も、千葉県の社協さんや、保健所の職員さんから「あの件はどうなりました？」と電話がかかってきたのです。気にかけてくださっていたのも嬉しいのですが、何とか自分たちにもできることはないだろうか？と動いてくださっていて、胸がいっぱいになりました ▼最終的に必要なものは手に入り助けていただいた方にはお礼の電話はしたのですが、受けた親切心、直接返すことはできないので、いただいた親切という【やさしさのバトン】別の誰かに繋いでいきたいと思います。＜**編集子**＞